

問6 保育者が健康に働き続けるために要望などありましたら教えてください(記述)

216人が回答(全回答者の73%)

1	子どもたちの命を預かる仕事をしているので待遇改善、賃金をあげて、休憩や休暇もとりやすくしてほしい
2	休憩時間をしっかり確保して、ちゃんと身体をやすめることができればいいな
3	勤務時間に応じて休憩時間が確保されること。休日が確保されること。勤め先は上記の内容が確保されているので健康に勤め続けられます。
4	とにかく事務仕事が多く、きつい仕事なのに給料が安い。
5	一般企業のように、福利厚生をもっとよくするべき。 休憩を子どもからしっかり離れて取ることができるように場所と時間をとる。 保護者にサービスじゃなく、保護者に園のルールに合わせてもらうようにする。
6	体力をかなり使う仕事なため、時短勤務にしたり、負担を減らすことで、健康で長く働けると思う
7	保育車の人数が増えれば仕事の分担もでき、心にも身体にも負担が減ります。それがよい保育に繋がり、こどもや保護者にとっても安心して保育園に預けることができることに繋がります。是非、保育士増加の政策をお願いしたいです。
8	有給休暇や休憩をしっかり取れる環境、余暇を楽しむ金銭的ゆとりが必要と思う。また命を預かり、人を育てるという重要な仕事なのに社会的に軽んじられていることが待遇や環境の悪さに繋がっているため、それも改善して金銭、精神、肉体全てに余裕のある保育園運営が出来るようにして下さい。
9	休みたい時に気兼ねなく休める。
10	子供の命を預かる仕事なので、もっとゆとりのある保育士の配置にしてください
11	給料上げて下さい。 休みを下さい。 明確な保護者支援の線引きを決めて下さい。園ごとではなく、国や横浜市がしっかり決めてもらいたいです。
12	仕事内容の見直しをしてほしい
13	職員配置の改善が行われても、実際に働きたいと思える待遇がなされなければ、保育士数は変わらず、現場の大変さも変わらないと感じている。補助金の収支が不透明なので、ただ会社の利益になるだけで、保育士の待遇は良くなりません。処遇改善費も適切に支払われているかなど、行政にしっかりと監察して欲しい。
14	子ども一人一人を尊重したくてもできない現場の苦しみと、とにかく待機児童をなくしたいという社会の要望が噛み合っていないと感じる。保育者の子どもも含めた全ての子どもが大切にされる社会や保育園であれば、保育の質も上がると思う。
15	休憩・休暇が保障できるように人手の保障確保できるような人件費を増額してほしい。
16	気持ち・時間にゆとりがほしい。そして一番はお金としての対価があればモチベーションが上がると思う。
17	保育者に対する理解
18	お給料を上げてほしい。 保護者もしっかりと預ける時間を守ってほしい。
19	配置基準が抜本的に改善され、処遇も見直されること。保育者が労働環境が悪く不健康で働き続けられないような保育現場で子どもたちに豊かな経験と発達保障などできるわけがない。

20	<p>配置基準を1番に変えて欲しい 設備に十分投資して環境を整えることで仕事は楽になる部分は大きい 掃除、消毒担当の職員を雇うお金を出して欲しい 有給休暇がいつでも取得できるようにフリー保育士を雇うお金を出して欲しい ほぼ100%の保育士が大なり小なり腰痛を抱えているので接骨院等で保険適用で格安で定期的を受診できるようにして欲しい</p>
21	<p>配置基準の見直し、質の高い保育者の増員。休暇休憩時間等、心と体にゆとりが生まれることが、健康に繋がると感じます。</p>
22	<p>求められる書類などもとても多い。事務時間を確保できるだけの人を配置したい。 保育園利用の基準緩和など利用者のための緩和をするのならそこで働く人の環境をしっかりと整えてからにしてほしい。処遇改善などあるがもっと単純に公定価格をしっかりと上げ基本給がぐっとあげられるようにしてほしい。 公定価格も一番低い額で定員分必ず欲しい。(定員外で受けれをしている場合は実人数で) いつでも受け入れできるような人は配置しているし、4月1日で定員割れをしているからと職員に給料を払わないわけにはいかない。</p>
23	<p>まず保護者ファーストの政策をやめてほしいです。自分の子どもは自分で見る。まずその責任から始まることを理解していない方も増えていると思います。 自分では見切れないから園任せ。それは違うと思います。 障害受容もそうです。しっかりと行政側も健診、フォロー体制を力入れて早い受容、早い支援を打っていかないとこの問題は先延ばし。不登校の増加で問題は解決しないです。 保育はサービスではないです。 子ども1人1人の命がかかっています。 保育というのは現場があって成り立っています。小学校もそうです。これだけ支援が必要な子が多く配置基準を見直す行動が起きているので、早く見直しをお願いしたいです。</p>
24	<p>有給休暇が取りやすい職場 オン、オフが切り替えできる職場</p>
25	<p>十分な休息、リフレッシュができる休暇、病院にも行ける時間確保と担当。</p>
26	<p>心の余裕が欲しいです。 株式会社経営の利益中心が無くなればいい。 とにかく安心して働ける、結婚しても子どもを授かっても続けていられる余裕が欲しい。 保護者中心すぎる運営は職員の負担が多くなるので保護者サービスはほどほどにしてもらいたい。特に土曜日の預かり。</p>
27	<p>配置基準の改善は急務。国は法律を守り、産業医にお支払いする公費をきちんとつけ、職員の健康を守って欲しい。</p>
28	<p>ストレスから体調を崩す人も多いと思います。はっきり言ってかなりギリギリの配置基準で保育士してるので、ケ子どもの主体性も守れない時もあるったりケガが起きたりしやすいです。ケガやケンカが増えると保護者との関係性が悪化することもあると思います。 配置基準が改善されること本当にお願ひしたいです</p>
29	<p>本俸を上げる</p>
30	<p>今のように保護者の要望ばかりじゃなく、保育士の負担権限も考えてくれないと保育士不足は解消できないと思います。13時間開所となり、標準時間も11時間になることで、ママ保育士はローテーションに加わることができなくなるので厳しい。保護者も一旦帰宅してからギリギリに迎えに来るので夕方になっても子どもが減らず大変。</p>
31	<p>トイレにも行けないこの状況を早急にどうにかしてほしい 小さな尊い命を預かっているのでそれに見合った賃金の支払いを検討してほしい</p>
32	<p>定期的に休みが取りリフレッシュできること</p>
33	<p>配置基準を変更するべき。 給料を上げるべき。(基本給)</p>

34	<p>きちんと休みがとれる。休憩がとれる。当たり前の権利が出来ない園も多い。配置基準が上がれば少しは改善される。また精神的な負担も大きい。企業のようにカウンセラーをつけるなども必要。金銭的にも援助が必要。これでは、家庭は養えず、男性保育士や母子家庭の母親など、保育士がしたくてもできない。金銭的な余裕も健康につながると思う。</p>
35	<p>不適切保育が話題になり、子供の人権が主張されている昨今。確かに子どもの人権は大切だと思いますが、私たち保育士の人権や尊厳は誰が守ってくれるのだろうかという疑問です。私たちがいわゆる不適切保育にあたるようなことばがけをしなければ子供の命や安全が守れないような場面があることを理解してほしいです。</p> <p>また、日々のストレスから心に余裕がなくなってしまうことも一因だと考えます。</p> <p>私の園では午睡が午前であり、時間も短いです。主任になると午睡の時間にミーティングをしながら食事を取ります。毎日何を食べたか思い出せないこともあるくらいです。休憩なんかありません。書類もその時間にはできません。行事の準備も少しは残業手当がでますが、その時間だけでは到底終わりません。全部サービス残業です。それでもやっているのは子どもたちのためです。子どもが喜んでくれるかな？保護者の方も楽しんでくれるといいな。その想いだけでやっています。</p> <p>保育士も家庭がある人は家庭を優先させなければいけないことも多く、独身の年数がある程度重ねている人たちに負担がよりかかっています。</p> <p>コロナ禍で国民全員が恐怖に慄いている中でも私たちは休まず保育を続けてきました。毎日電車で通勤し、休日に友達と遊ぶことも制限されて、それでもコロナに罹ってしまうと保護者からクレームをうけました。私はコロナに罹らず、濃厚接触者にもなることがなかったので、コロナで保育士が全く足りない時もずっと出勤して、保護者に頭を下げ続けました。もう辞めたいと何度も思いましたが、私たちが辞めずに続けているのは目の前の子どもが可愛いからです。こんなに可愛いと思っているのに人手不足のせいで子どもの遊びや行動を制限しなければいけないことがあるんです。それを一括りに不適切だと言われてしまうのであれば、まずはそうならないように国が変わってくれなければ、保育士は減る一方だと思います。</p> <p>人手を集めるためにも、保育士が楽しく働き続けるためにも賃金をあげることも同時に要求します。同年代の人と比べても絶対的に少ないお給料で働いています。</p>
36	<p>自分が必要な時に病院に行きやすいように、体制が整っていること。薄給なのに身体のメンテナンスにお金がかかるので、給料を大幅にアップすること。9000円ではこのご時世何も変わりません。心の健康を保つためにも、給料をとにかく上げること。家賃補助がないと暮らせないので将来がずっと心配なまま。いつ市の補助が打ち切られるか分からないのでは、いずれ保育士を離れる人が増えるでしょう。（私が知るだけでも数人います）（私も打ち切られる前に離れます）</p> <p>何度もいいますが、お金です。給料が上がれば人が増える。余裕が出れば優しくなれる。簡単です。事業者にどこに使われるか分からない変な手当を上げるのではなく、基本給を上げる努力をして欲しいです。</p>
37	<p>先生を増やしてほしい。お給料を上げてほしい。命を預かっているということをもっと深刻に捉えてほしい。</p>
38	<p>分かりやすい明確な賃金の改善。</p>
39	<p>保育者も人間であり、人として生活があるので、具合悪い時には休める、好きなことなどプライベートを大切にできることで、心身への健康に繋がると思います。当たり前と思うことが保育の現場ではできていません。</p> <p>保育者自身が心身健康でいることが、保育の質の向上へ大きく影響すると思います。改善され、子どもと保育者が心身ともに健康でいられることを切に願います。</p>
40	<p>人数確保と、賃金の安定</p>
41	<ul style="list-style-type: none"> ・ 時間と仕事（子どもと直接関わる時間以外）に追われないこと ・ 職員間で保育について話し合う時間の確保（事務連絡ではなく） ・ 時間外労働、超過勤務の縮小、給料の大幅増、年間休日の確保、有給消化率のアップなど
42	<p>具合が悪い時は、休めるように、保育士の数の充実が必要</p>
43	<p>給与は最低でもあと10万は上げて欲しい。</p> <p>生かさず殺さずのギリギリの生活では豊かな保育は実現できない。</p> <p>勤続10年で借り上げ社宅を利用して手取りが20万をきるのが当たり前なのはおかしい。</p> <p>処遇改善2でも最大4万/月では焼け石に水。</p>

44	<p>まずはお給料を上げてほしい。大変な上にお金も少ないようなら保育士がどんどん辞めていくと思います。そして、書類の簡略化と、書類を書く時間の確保をしないといけないと、国が定めてほしい。保育士の仕事は終わりが無い。手を掛けたらいくらでも手を掛けられる事ばかり。ただ、それをどこに手を掛けるべきなのか、目を掛けるべきなのか、力を入れるべきなのか。もっと保育士にも心の余裕が出来たら、保育内容も、子どもたちや、保護者への対応の仕方、地域への関わり方がより良い方へと進んでいくと日々感じています。子どもたちはこの国の未来です。その子どもたち、育てる親、へのより良い対応を国が望んでいるならば、保育士への対応を今一度考えてほしいと切に願います。</p>
45	<p>複数の保育士が配置できることで、事務量が減る。緊張感も共有できることで気持ちにゆとりが生まれる。 余裕があることは働きやすさに繋がると思う。</p>
46	<p>体力のいる仕事ですので給与、休暇で余裕があれば長く働いていけるのではないのでしょうか。それとともに、配置基準の見直し、保育以外の雑務等の効率化(おもちゃの消毒などは保育士以外の人員を配置できるように)が必要だと思えます。</p>
47	<p>十分な職員配置で、業務に余裕がもてるようになってほしい 保育士不足の解消</p>
48	<p>現在の配置基準を早急に改善する、また、平均賃金並みの賃金体系にする、それしかないと思えます。</p>
49	<p>休暇が取りやすい体制を、すなわち余裕のある人員配置を望みます。配置基準の見直しが必須です。</p>
50	<ul style="list-style-type: none"> ・労働時間の見直し ・保育外業務(事務、保護者対応等)の軽減 <p>保護者対応でストレスを感じる事がとてもある</p>
51	<p>大幅な給料アップ。国が保育園にお金を払っても保育士に還元されない。</p>
52	<ol style="list-style-type: none"> ①子どもの配置基準も大事だけど、子どもの面積基準も変更するべき。1人に対して今の基準よりも広くしてほしい。 ②給料を上げて欲しい ③保育士の社会的地位を上げて欲しい。
53	<p>配置基準の改善。賃金UP。保育士不足の解消。保育の現場を監査での視察ではなく、実際に保育に入って欲しいです！</p>
54	<ol style="list-style-type: none"> ①仕事の働く時間を8時間拘束に戻してほしい。休憩は最悪取れなくてもしょうがないので、9時間拘束をやめてほしい。取らなくては行けないというのわかるけど、実際問題子どもたちのことをしたらゆっくり取れない。それならば拘束時間を8時間に戻して、給料もそのままの値段で仕事を続けていけられるようにしてほしい。 ②園の職員の人数が多ければ、シフトなども余裕を持って回せると思います。私自身、子どもがいるためシフトに入ることができなくなってしまったため申し訳ないのでパートになったけれど、人数がいればそういうところもカバーできたのではないかなと思います。下の若い子達の時には改善してあげてほしいと思います。 ③園の子どもたちが安心安全に保育園で楽しむために、また保護者も相談できる、しやすい保育士が1人でも増えたほうが気持ちの中でも余裕ができて家庭でもゆとりを持って子どもと接することができると思います。ぜひ、保育園に1人でも多くの人員配置ができるように改善をお願いします。
55	<p>心身ともに健康に働きつづけるために、職員間の話し合い(ケース会議、保育観の話し合い、園内研修など)の時間を定期的に充分に取ること、園外研修をする時間を充分に取りたい。 休暇や短時間勤務など、勤務の形態の自由度を上げれば、潜在保育士の方々も働きやすくなる。</p>
56	<p>現状、人間関係で退職する人が多い。配置基準が増えても気が合わない人と一緒だと勤務するのが難しい。 行事や軽作業など全部外部委託して、保育士の負担を減らす方が良い。</p>
57	<p>休憩、休暇をしっかり取る</p>

58	しっかり休憩や、休暇が取れる人数の配置。女性の多い職場なので家族の為の休みが他の職種より多いことを考えて、配置基準も多くしてほしい。
59	対比人数の改善。保育所への補助金アップ。
60	休息や、子どもと直接に関わらない仕事の時間が確保できると不必要なストレスを溜めずにいられる。
61	保育士は日頃の子どもの命を預かることが根底にある仕事だと思っています。そこに子どもが生活する上での向上、教育的向上など保育に求められるものがどんどん増えていけば、命を預かっているという毎日の緊張感の他にやらなければならないことが増えて心身共に疲れが積み重なっていきます。疲れや疲れから来た体調不良、ストレスを解消するためには、人それぞれ方法は違うと思いますがお金が必要になってきます。しかし残業がありお給料が少なれば疲れを癒す時間も体調不良を改善させる受診の時間や料金もできません。健康に過ごせるようにするならば、まずはお給料を上げて、保育士に求める全体的な業務内容を下げるといいのではと思います。また、子どもの人数の定員が決まっているなら、大人的人数は子どもの人数に対する人数以上を常に置いておき、書類や制作準備などの事務をする時間を確保して残業の時間をなくして持ち帰り仕事や書類に追われるストレスや疲れをなくすることが、保育士の健康に繋がるのではと感じます。
62	保育士数の増員により体力的な負担、何よりも気持ちの負担が改善されることを望みます
63	人数確保。仕事の削減。休憩の確保。見合った給料。
64	休みたいときに休める環境。
65	保育以外の労働の削減。（特に書類）サービス残業が当たり前（やっている人が一生懸命という間違った認識）の風習をなくしてほしい。 看護師並な給料にしてほしい。肉体労働で体を壊しやすいのに体のケア（整体、消毒による手荒れでの皮膚科受診、子どもから感染した際の受診費や薬代）などは実費で行うので現在の給料では足りない。また、それらを有休で消化するのでリフレッシュの休みが取れない。 国や市から出ているはずの手当が現場の保育士に100%おりてこない事も問題。
66	給与改善
67	賃金のその上げ
68	低賃金で病院に行きたくても行けない給料を上げて欲しい(基本給)
69	定期的に運動できる場所を紹介してもらいたい
70	子どもを預かる時間を見直すべき。保育園に居る時間が長い。保護者が退勤した後買い物や食事を家で作ってから迎えにくるケースが多い。保護者が休んでも保育園に預けていく。見る子どもの人数が1人でも減ると肉体的精神的に楽になる。保護者の協力が保育者の健康に繋がる。
71	事務作業の軽減、いくら人数を増やしても保育以外の作業も効率的にならなければ負担は変わらない。
72	給料を上げてほしい。看護師と同じくらいの給料はもらっていいと思う。同じ命を預かる仕事だと思う。
73	給食の時間を休憩時間に含ませない。カウンセリング等相談機関を利用できるようにする
74	<ul style="list-style-type: none"> ・業務量に見合った適切な労働時間 ・長時間保育の是正 ・いつでも休暇の取れる人員体制 ・将来性があり、働き続けようと思える給与
75	適切な休憩時間の確保 自己研鑽のための時間確保 保育者同士が充分にコミュニケーションをとれる
76	今のままの保育士の給料のままでは精神的にも体力的にも限界 子どもの命を預かっているのに学生のバイトと変わらないぐらいの給料なんてありえない お偉いさんも実際に保育体験をしてこの仕事の辛さを知るべき

77	書類負担の軽減。それぞれの園に様式、書式を丸投げでなく、行政がフォーマットを作り、オリジナルでやりたい園は認めればいい。1, 2年で行政の書類研修をしっかりと受けて、書類作りに悩まなくなるようになれば、精神的、時間的負担は減る。ほとんどの園は正規職員が担って、土日の自宅でサービス残業は当たり前。パート職員は基本的にやらないが、それほど待遇に差をつけられない。
78	<ul style="list-style-type: none"> ・休憩時間や休暇が取りやすい職場環境。 ・保育園の開所時間を平日は19時まで、土曜日も短時間にするなどして保育時間を見直していく。 ・看護師やカウンセラーなど専門の職員を配置する。
79	配置基準の見直しや処遇改善 退職金やボーナスなど
80	体調不良の際に休みやすい制度になって欲しい。
81	常に子どもたちに目配り、気配りをされていて過度な緊張があるので、しっかり休める時間の確保。
82	配置基準かつかつの人数配置だと、有給を取りにくく、（休んでしまうと配置基準を下回ってしまうため）休めないと心も体も疲れ切ってしまう。配置基準よりも余裕を持った人数配置ができるようになるといい。
83	整体などの定期的なケアに、補助が欲しい。
84	複数担任がいる事により、共有して、保育するので、安心して休んで任せたりすることができ、ストレスが軽減される様な働きができる
85	国の配置基準を一刻も早く見直して欲しい
86	職員間の話し合いができる時間が多く確保でき、連携を取りやすくできるようにしたい。事務作業などの時間も確保できれば、気持ちに、余裕ができて身体にもいいと思う
87	保育所保育指針が机上の空論のように感じ、実態との矛盾を感じる事でモチベーションが下がる。メンタル的に不健康。その点を、雇用している上層部がわかっていて欲しいし、サポートして欲しい。配置基準や給与も改善が必要だが、現場の施設長らの意識や配慮を向上させるための、国としての教育や研修もして欲しい。
88	人数に余裕も生まれれば、自分にも余裕が持てると思う。子どもに対しても職員に対してもストレスが溜まるのが減るのではないかな。 休みの日も無気力になるのが減るのではないかな。 子どもの命を預かる身としては、給与を上げてもらおうとモチベーションも上がると思う。
89	まず人員確保。心も体も余裕を持って働けることが自分自身にも子どもたちの育ちにもつながり、保護者への安心にも繋がると思う。
90	待遇をもう少しよくして欲しい
91	精神的な健康面で言えば、配置基準が改善されれば大きく違おうとおもう。その為に保育士が必要になってくると思うが、横浜市は作りすぎた保育園を減らしてどうかと思う。各園に保育をほとんどしない園長と主任を2人ずつ抱えてるなんてもったいないと思うし、幼児クラスは定員割れな園が多いから、それぞれに担任1人取られてるのでもったいないと思う。 身体の健康面でいえば、体調不良の子がきちんと休む仕組み、感染症をひろげないよう休むことを強く言えるようにして欲しい。保育士が園でうつされた病気に関しては有給扱いにできるような制度がほしい。
92	心身のバランスが取りやすい環境設定が必要だと思う。
93	今の配置基準では、一人の負担が多く、重労働の為、腰や膝などの負担が大きい
94	休暇日数の増加、保育者人数の増加
95	残業なし、休みが取れる
96	保育者一人に課せられる保育以外の仕事が多すぎている。 保育には入れない時にパートで賄っていることが多い。 人が増えれば、雑務も軽減し保育にも入ることができる。

97	病院などに行く半休などを取りやすくしてもらいたい。
98	・子どもから離れる時間の確保 ・適切な労働時間
99	保育士が少ないと多少体調が悪くても、他の先生に迷惑がかかるので休みにくい
100	働く環境の改善と心身の余裕が絶対、それには人員不足が解消されることがまず必要だと思う。
101	体調が悪い時は休んだり、早退したりできるのが当たり前になってほしい。その為には保育士の人数を増やすべきです。 ただ、人数を増やしても保育士の仕事に就きたい。と思うように仕事に見合った給料改善を求めます。
102	保育者の福利厚生、働き方の問題にも目を向けてほしい。
103	特になし。
104	どの企業にも当てはまる事だと思いますが、雇う側と雇われる側が忙しくても話し合う時間を取る事が大事だと思います
105	保育士の立場を社会が認め、保護者重視（子どもの立場を無視した）の行政が保育士を守るために動いていただきたい
106	園内の風通しの良さ、給料の底上げ、保育者の専門性を広く世間に伝えること
107	学年を越えて、皆で子どもたちの状況を共有し、手が必要なときにサポートできる体制が整っていること。
108	保育士の人員を増やし、余裕を持った保育を実施すると共に、必要最低限の事務仕事にするなど、見直せる所は見直してほしい。それには保育士の確保と賃金の見直しをしてほしい。そしたら働く保育士も増えるのではないかと思います。
109	賃金の低さ。子どもの命を預かりながら、遊びの中で学びある生活をしていく。誰でも出来る仕事と思われるのか、日本でも25万をもらえるのは6何以上働かないとつかなかった。海外と比べても人数の配置、給料は差がありすぎる。こんなに過酷だが、子どもが好きであるという心情も大きく、身を粉にして働いている人が多い。 同じ人間なので間違えることも失敗もある。怪我などへの保護者のゆとりのある考え、労働時間の確保。子ども達と離れた場所でも記録や保育準備など時間外でのことも多い。事務仕事や掃除なども専門の人がいることでゆとりに繋がる。 休みが少ない、シフトのためみんなで集まる会議に休みの日だけれど出ることもある。
110	給料を上げてください。給料も少なく残業だらけだと身も心もボロボロになります。限界です。
111	保護者が保育園に全てを任せ、保育料払ってるんだからと、子どもの事を人任せにしている家庭が多い。発熱しても仕事優先でなかなか迎えに来ないなど子どものことを考えると可哀想だと思ってしまう場面が多々ある。 子どもの事へのストレスより、保護者対応のストレスでこの仕事が嫌になることがある。 子育ては、親が一番にするものだと言うことをもっと発信してほしい。 女性の社会進出を推進するなら保育士の仕事の重要さや価値がもっと上がるようにしてほしい。若い保育士さん、全然いませんから。。
112	休憩時間の確保、有給の取得しやすさ、精神的にゆとりのある職場環境など 給料を一般の会社員並みに上げてもらえれば頑張ろうと思えるけど、命を預かる仕事でリスクが高すぎるのに給料が安すぎます。 だから保育士をやる人が少ないと思います。
113	時給上げて頂き、有給休暇を増やして欲しい

114	保育、事務仕事、保護者支援と様々な仕事があり、特に事務仕事は、形骸化されて、不用なものがある。小学校に送る児童要録は本当に必要なのか？ここ数年、小学校から電話で聞いてくるし、読まない事もあると聞いている。実際に読んでいないと感じる出来事もあった。何の為に必要なのか？大変な思いをして丁寧に書いているので、再考しすぐに辞めて欲しい。また、保育士は休憩時間が全くとれない。取るためには職員の人数が必要である。給料も仕事に見合わず低すぎる。社会全体が保育を下に見ているように感じる。子どもの育ちの大切さを全く理解していない。
115	給与、時給を上げて、金銭的、精神的に余裕が持てると良い。 各地域の役所、療育センターを充実させ、援助の必要な子どもや家庭へのアドレス等がスムーズにすすんで、職員の精神的ストレスや、個別配慮の大変さを軽減されると良い。
116	保護者の訴えや、クレームに対する対応がたいへんである。
117	完全週休2日、1日7時間勤務、持ち帰り仕事なし、有給休暇年間24日
118	人数の確保、給料のアップ
119	マッサージ手当とか、肩や膝、腰に負担がかかるため身体の健康を維持したいが、時間もお金もかかる
120	休憩時間を増やして欲しい
121	事務仕事は事務員、用務員など専門の仕事を請け負ってくれる人たちが必要。 保育士の思いを受け止めてくれる存在が必要。
122	やりがいの持てる仕事であることが、働き続けられる要因だと思います。もちろん、仕事内容に見合う賃金の補償があることが前提です。 ストレスや、余裕のない保育が子どもへの接し方に繋がるのだと思います。 有資格者が保育の仕事をしたと思える体制、保障を希望します。
123	配置の見直し、保護者の質の向上、賃金引き上げ
124	休みたい時に休めない環境はストレスにしかありません。子育てをしながらの保育士としての勤務は過酷すぎます。人員にゆとりがあることは、質の高い保育へとつながります。
125	保育者も一人の人間です。心があります。 今の基準では心やからだがりすり減っていきます。一人ひとりに丁寧に関わりたいと思っても叶わずに理想と現実にモヤモヤしながら、どうにか模索して保育を試行錯誤している園や保育士のどんなに多いことかと思えます。 配置基準もちろん給与に関しても国が改めて見直す必要があると思えます。命を預かり、未来を担う子どもを育てるという必要不可欠な職業であることを今一度真剣に考えて頂きたいです。
126	給与アップ
127	とにかく、保育補助でも良いので、休憩がとれたり、事務作業等が勤務時間内でおさまったり、休暇が取りやすい様にまた、給料面でも大切な命をお預かりする仕事なので精神面も考慮して見合ったものにして頂けたらと思います。
128	心身共に健康であり続けるために、プライベートも守られるべき。それには余裕が必要です。ギリギリでは病みます。休憩をとるなら仕事を処理したいと思わないような環境にしてほしい。休みが取りたいときに取れなければ、自分のプライベートが犠牲になる。
129	保育業界の地位が上がる
130	保育士配置基準の改善
131	保育士も一人の人間であることを政府の人間にわかっていただきたい。 過酷な労働環境では、働きたくても働くことはできない。 責任重大な仕事にも関わらず、低収入なこと。 仕事に見合う収入になるようにしてほしい。
132	規定休暇以外の特別休暇を増やす

133	<p>配置人数を増やして休暇をとりやすくしてください。上記しましたが、自分が心と身体を休める、または家族と過ごすまとまった時間がほしいと思うことがあります。個人的な話だと私は子どもが成人したのでそれほど自分の子どもとの時間は必要ありませんが、まさに子育て世代の先生方にはプライベートの時間が必要だと思いますし、そこが改善されれば離職率も下がり、経験値の高い保育士が増えるのではないのでしょうか。</p> <p>また、書類があれば子どもの安全が確保されている、とは思えないので、事務仕事のスリム化も合わせて行なっていただけるとおもいます。</p>
134	保育者間のトラブルをなくしていく。
135	配置数の見直しをする。
136	サービス残業が発生しないくらいの、業務量の削減や、人員の増加(給与面での改善などによる潜在保育士の雇用促進)が必要だと思う
137	週4日勤務 休暇保証 賃金値上げ
138	お休みも安心してとれる
139	しっかり有休もとれ、無理なく働く事ができる環境が、整っている。
140	保育以外の仕事が増え、持ち帰りの仕事も多く、担任になると休暇も思うままに取れないので、職員を多く配置する、保育に専念出来る、休みを取れる環境、給料アップ等
141	<p>保育士配置基準の引き下げにより、負担が減る。勤務時間を減らす。給料の引き上げ。保護者に向けての子育て義務の認識向上を、国が求めること。保育所に預ければいい！ではなく、基本は保護者が愛情を持って育てることが大事だと国が保護者に伝えていく。その手伝いをしてもらっているという気持ちがなければ、互いに高め合えない！</p> <p>昨今、保育所や幼稚園、小学校への保護者からの理不尽なクレーム、要望が増えている。保護者がすべき子育て、しつけ、などを放棄して、問題が生じたら、保育所や幼稚園、小学校側のせいにする。その対応に保育士たちは精神的にやられてしまう。そんな所で働きたいと思う学生は増えない。</p> <p>今のまはまの子育て世代の保護者の感覚では、将来を築いていける人間が育たないと思う。</p>
142	<p>正規職員、非正規職員に関わらず賃金を上げる。</p> <p>保育者の人数を増やす。</p> <p>持ち帰り残業をさせない。</p> <p>研修制度の充実。</p> <p>子どもと離れた部屋で休憩を取る。</p>
143	保育現場の人員を増やすこと以外ありません。
144	事務作業などをお昼寝などでやるのではなく、しっかり事務時間を取り、保育者が充分な状態で仕事をやる。
145	『保育士＝給料面が低い』ので、安心して働けるような給料体制を国や県で見直してもらいたい。未来を担う子どもを育てる仕事です。魅力的な仕事だと若い方へ伝えたいです。
146	完全週休2日の実現、昼休憩時間をしっかり取れる環境、有給休暇を取得しやすくする、業務に見合った報酬、横行しているサービス残業の改善、風通しの良い職場環境
147	国基準での保育時間の短縮。10時間以上は長い。自分の時間がないので、心も休まらず精神疾患になる人が多すぎる。そして、やるべきことが多すぎる。あれもこれも出来るスーパーマンと認めてくれているのであれば、それなりに国からお金を出して欲しい。子どもが好きで保育士になった保育士を潰さない為にも改善して欲しい。
148	労働時間と給料を上げる
149	<p>給料をあげていただきたいです。</p> <p>休暇を多くとれるような仕組みも出来たら尚嬉しいです。</p>
150	職員の人数を増やして、休日を増やす事。賃金を上げる事。シフトの振りが幅が広すぎて体調が狂いがちなので、毎日違う時間ではなく、週単位などでシフトを組むこと。
151	保育の配置基準を 早急に変える事が、保育士が健康に働き続ける事に繋がると思っている。

152	常に何かに追われている状況で、ゆっくり休憩も取れていない、ハードな日々だと感じています。有給休暇の他に個々に年に2日程度でも指定休日として、正規もパート職員も必ず休める日を設ける等の制度があると、リフレッシュできたり、自身の子どもの学校行事に参加する等、心身共に健康で働こうとする意欲が湧く1つの嬉しい制度になるのではないかと思います。
153	事務時間を実働の中に組込んで。
154	一人一人の保育勤務時間を短くする
155	(特に幼児は)一人でクラスをまとめなければならず 誰にもクラス運営の相談ができなくて心身の負担がかかっているのもそれが軽減され、働き続けられるとおもう
156	コロナやインフルエンザの特別休暇
157	人員をください
158	保育者の数をもっと増やして優遇良くして欲しい
159	病院に行けるような休暇をしっかりと取れるようにする。
160	保護者が仕事以外での保育を受けていくのであれば当然預かる日も多くなるし時間も長くなる。それをシフトなどで今のまま対応していくと保育士は休めないし手薄な時間ができてしまう。土曜日、延長保育を受けるように横浜市がいうのであれば人員を増やしてもらわないと無理があると思う。保育士を続ける人も減ると思います。
161	賃金上げてもらえれば、心身ともに健康で働けます。
162	現状の保育士不足の方をなんとかして欲しい。
163	毎日、保育から離れてきちんと休憩をとりたい。休暇をもう少し流動的にとらせて欲しい。残業は残業代を支払ってきちんと対価が欲しい。
164	あのように報道がでて、保育士確保がさらに厳しくなり採用も中々出来ず、一人の負担は重くなった。待遇改善と保育士の存在の大切さを国が声をあげてほしい。子育てにたいしての支給も良いがその前に保育士の待遇改善が急務と思う。
165	賃金が上がれば就職する人も増え、保育者の負担が減る 人の命を守る仕事なのに低賃金すぎる 理不尽な保護者からの意見が以前よりも増え、精神的に追い詰められている保育者もいる 保育者のメンタルケアが出来るよう、専門家と連携を取れるようにして欲しい
166	心身ともに余裕を持って保育ができるように、人員の増員、休みやすい環境作りが大切であり、労力に見合った給与の支払いが大切だと思います
167	勤務時間、休憩が取れる、事務時間、休暇
168	処遇改善、持ち帰り業務ゼロ、土曜保育制限
169	1日の労働勤務を1時間減らしてほしい。
170	有給をとり、リフレッシュしながら働けるように、保育士の配置基準を考え直していただけたらと思います。
171	安全に保育をするためには、体力的にも精神的にも多きく負担があるので、保育士の人数が増える事で負担が減る。
172	保育士を増やす。そのためには、賃金の値上げは不可欠だと思います。
173	労働力に見合った給料にしてほしい
174	<ul style="list-style-type: none"> ・ 人員の確保 ・ 休みの保証 ・ 賃金アップ

175	<p>全てはストレスを溜めないことだと思います。 この場で申し上げさせていただきます。勝手にご了承ください。 幼稚園教諭を経て保護者となり、保育士の身です。なぜ企業に比べ給料が低いのか。「ただ子どもを預かり遊んでいればいい」というイメージが昔から受け継がれ、現在に至るのだと私は思っております。大きな間違いで、遊ぶこと一つをとってもそれがどれほど大変か、命を預かりそれを守ることがどれほどの神経を使うか…。なぜ何十年と経っても改善されないのか、甚だ遺憾です。 また、「37.5度以上」での家庭への連絡、そしてお迎えのお願いについて。そもそも大抵の方々は保育園へ預けて仕事をしているはずであり、生きるためには仕事をしなければならないはずで、電話一本で早退しなければならず、24時間以上は登園できないために翌日は欠席せざるを得なくなります。幼ければ幼ければほど免疫も未完成で、ただでさえ体調を崩しやすいはずで、国のお金を大切に有効に使っていただきたい、そのためには看護師一人を保育園に在中させ、困ってしまう父兄の方を減らしてほしい、つくづくそう思います。</p>
176	体調不良による休暇をとりたい
177	休憩時間をしっかり取れる環境が欲しい。
178	持ち帰り仕事を減らすようにしていけたら良いと思う。
179	休みが取りやすい環境
180	保育者が心にゆとりも出れば保育も良い保育が目指せる。賃金も上がれば、保育士のモチベーションも上がると思う
181	休憩時間の取り方
182	職員が十分な人数が集まらないので、子どもが少ない園を統合して保育士を確保できるようにする事。保育士の仕事はとてつもなく大変なのに、給料が安く上がらないからせつなく免許を取っても成り手がいない
183	子どもと離れて休憩する時間がないので、休憩する時間が欲しい。でも休憩していると事務が終わらないので事務時間も保障して欲しい。給与も他職種に比べると低いので改善してほしい。遅番もあるシフト制だと家庭との両立が難しいので、子育てしながら働き続けられる仕組みを確立させてほしい。
184	国の配置基準を良くする。 保育士の給料をあげれば、誇りを持って働ける。勉強もする。生活に余裕ができれば、気持ちも余裕がでたり、視野も広がる。 子どもにとっても、学んだり、視野が広がった保育士に豊かに保育してもらえらる。
185	保育以外の事務時間の確保。
186	賃金改正、休暇室と男女別の更衣室、トイレの設置。株式会社はギリギリの職員配置ではなく、休暇取得などを加味した人員配置をすべき。だから人がやめていく。本部上層部は1日椅子に座って保育士の何倍給料もらってるのかしら？どこの会社も全部ブラック企業。こんな会社や業界で働きたい奴がどこにいるのか
187	今のような無謀な子どもへの配置基準が無くなり、集団保育という保育園ならではの関わりが無くなり、そういう面での保育士の保育への葛藤が無くなることで保育士の心の健康も維持されると思います。
188	保育士の前は販売員として勤務していたので、同じ責任のある仕事だとしても、命を長時間にわたり預かるということは働く側にとつてもない負担になる。なので比べるとストレスはとてつもなく大きいと思う。そのストレスは協力してくれる人が1人でも多いと大人でも安心できるので心の健康にも保育士が増えてくれるといいと思う。家庭でもシングルで子育てをしている人に支援が出る世の中、1人で多くを抱えて働くことは大変だと思う。 子どもたちが笑顔で楽しい様子を見られると元気をもらえるので、その環境が保たれることが1番だと思う。
189	社会全体が週休三日制。
190	事務作業の軽減、事務時間確保。保育士確保
191	休憩時間が取れない、有給取りづらい

192	精神的にも肉体的にも、常に追い込んでるので、人員を手厚くして欲しい。見て見ないふりをしないでほしい。現場からの要望を、園長（今の園長は尊敬できます）や専門家が拾い上げてほしい。職員の質についても、疑問がある。養成校を出ても、国家試験をしっかり受けさせてほしい。誰でもなれる簡単な免許にしないで欲しい。
193	園行事など連休がとれない事が多い。休むとその分の負担が休み明けにくる。休憩がとりにくい。子どもから離れて休む環境がない。このあたりの改善がなされると体も無理せず働ける
194	ノンコンタクトタイムの確保。賃金アップ。
195	賃金の値上げや休息が十分にとれるように保育者を増やして欲しい。
196	保育士になる前に、パートで働いていて資格取得で正社員になり、新年度に違う保育園に異動となり、しかも担任を受け持つことを直前に伝えられました。精神的に病み、結局パート時代含め長く働いていた会社を辞めることになりました。今は知り合いの保育園で働いています。辞めることになった会社は、毎年新入社員が入ってもすぐ辞めてしまうことが多く、その度に他の保育園から異動となるが多かったです。私のようにストレスで働けなくなることも多いと思いますので、保育園に任せると日々の業務に追われ、保育士個々の精神的サポートができないと思うので、カウンセリングや相談窓口を設けた方がいいと思います。
197	更衣室、休憩室、事務室の分離、確保
198	給料、手当での充実、腰痛の対応のためのマッサージや、整体などの補助 健康維持のための福利厚生の実、有休を確実に消化できるシステム
199	オンとオフを分けられるように、休憩時間の確保。 職員間の信頼関係(疑問に思った事を話し合いができる環境と情報共有)
200	一日の勤務時間の短縮、有休取得しやすい環境
201	保育園への要求が多すぎる。行政も保護者も。給与も安いままでこれでは離職が増えるには当然。保育園、保育士を安価に扱っている。昇給、待遇、働き方の改善が必須。
202	配置人数の改善と、処遇改善。書類の軽減。ストレスの緩和と、生活できる処遇内容の充実。
203	給料のアップ。3月末を全園3日は休園(新年度の準備、リフレッシュ)。正規雇用の促進。派遣さんばかりで対数はクリアしても、担任の正規雇用保育士は保育以外の仕事を抱えているので、負担が多いです。月給では正規雇用より、派遣さんの方が多くもらっているの、余計に正規雇用のなり手が少ないと思います。
204	給料面。心理的負担の軽減。
205	時間とお金に、少しの余裕が欲しいです。 事務的な業務な負担が大き過ぎて、心を込めたい業務(製作の準備、行事の準備、保護者との連絡帳のやりとりなど)が疎かになってしまうことが、何よりもストレスです。 時間さえあれば、もっと良くできるのに...という思いを抱えながら、目の前のことをこなすことで精一杯です。気づくと時が過ぎていて、やるべきこと、やりたかったことができないままです。もっと保育の質を高めたいです。 金銭面も、今は借上社宅制度を使用しているので生活が成り立っていますが、それが無くなったら、保育士は続けられません。保育士のお給料が適正かどうか、是非検討をしていただきたいです。
206	体調がすぐれない時や有給休暇がとりやすい
207	給料あげて欲しい 低賃金すぎて、やる気も出ない
208	勤務時間中に書類含め全ての仕事が終わりに、休日は完全に休日として休むことができれば、私生活も充実し心も体も休めることができるのではと思います
209	求職者の話を聞いていると、配置基準が少ないせいで休憩が取れない、トイレにも行けないという園がいまだにある。そうせざるを得ない基準を国が定めているなど言語道断。
210	勤務時間内に保育準備や保育計画等の事務的仕事をする時間が保障されること。 休憩、休暇が保障されるなど労働者としての当然の権利が守られ心身ともに余裕を持って仕事に臨めること。

211	<ul style="list-style-type: none"> ・ 配置基準の見直しと共に、余剰人員の必要性があることを全国の園の共通認識とする、それに伴う国からの援助 ・ 年間休日が少ないため、根本的な見直しと園への指示を国からして欲しい ・ 土曜日保育の見直し、役所から保護者へ本当に利用の必要があるのかの確認、園では保護者の就労形態やその他の理由の把握が保護者の発信がないと確認できない、もしくは難しいため。 ・ 保護者の仕事が休みもしくは特別な理由のない際は短時間保育にすることを役所から発信して欲しい。 ・ 保護者の方が子どもを預ける権利の主張が強く、福祉でもあるという部分の理解の希薄さが見受けられるため、役所から発信し理解に繋げて欲しい ・ 保護者支援も大切であると分かっているが、子どもの荒れていく姿や気持ちが満たされておらず希薄な親子の関係性などを見ていると、もう少し親子の時間を大切にして欲しいと感じる等、現場としての葛藤が多くなる。保育者として向き合う体力面や精神面でも疲労を感じやすい状況となりやすい。保護者への支援の必要性もあるが、それ以上に子どもの幸せを重要視した対策、子どもが中心となる家庭環境や現場作りとなる様な整備をして欲しい
212	<p>休憩時間の確保。残業せず時間内で書類作成や作業ができる。有給を取得しやすい職場。コミュニケーションが取りやすい職場。行事に追われない。</p>
213	<p>情報共有をしっかりと出来る環境と、保育のキャリアアップをその人によって出来ること</p>